

キリストの弟子となる（２）主のすべての教えを守る

「わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」（マタイ 28：20）

1. 最大の掟～神を愛し、隣人を愛する

「イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』 38 これが、重要な第一の戒めです。 39『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。 40 この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」（マタイ 22：37～40）

① 神を愛するとは

・ 神の命令を守る：

「神の命令を守ること、それが、神を愛することです。神の命令は重荷とはなりません。神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。」（第一ヨハネ 5：3～4）

・ へりくだって神と共に歩む

「主はあなたに告げられた。人よ、何が良いことなのか、主があなたに何を求めておられるのかを。それは、ただ公正を行い、誠実を愛し、へりくだって、あなたの神とともに歩むことではないか。」（ミカ 6：8）

・ 祈る～感謝と喜びを持って

「いつも喜んでいなさい。 17 絶えず祈りなさい。 18 すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」（第一テサロニケ 5：16～18）

「彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。」（使徒 2：42）

・ 主を恥じない（否まない）

「ペテロは力を込めて言い張った。『たとえ、ご一緒に死ななければならないとしても、あなたを知らないなどとは決して申しません。』皆も同じように言った。」（マルコ 14：31）

「だれでも、このような姦淫と罪の時代にあって、わたしとわたしのことばを恥じるなら、人の子も、父の栄光を帯びて聖なる御使いたちとともに来るとき、その人を恥じます。」（マルコ 8：38）

② 隣人を愛する

- ・ イエスが愛したように愛する

「わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。 35 互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」(ヨハネ 13 : 34～35)

- ・ 自分にしてもらいたいことを相手にもする

「ですから、人からしてもらいたいことは何でも、あなたがたも同じように人にしなさい。これが律法と預言者です。」(マタイ 7 : 12)

- ・ 互いに仕え合う

「しかし、あなたがたは、そうであってはいけません。あなたがたの間で一番偉い人は、一番若い者のようになりなさい。上に立つ人は、給仕する者のようになりなさい。」(ルカ 22 : 26)

「主であり、師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのであれば、あなたがたもまた、互いに足を洗い合わなければなりません。」(ヨハネ 13 : 14)

- ・ 赦す

「そのとき、ペテロがみもとに来て言った。「主よ。兄弟が私に対して罪を犯した場合、何回赦すべきでしょうか。七回まででしょうか。」 22 イエスは言われた。「わたしは七回までとは言いません。七回を七十倍するまでです。 23 ですから、天の御国は、王である一人の人にたとえることができます。その人は自分の家来たちと清算をしたいと思った。」(マタイ 18 : 21～23)

- ・ 敵をも愛する

「自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。 45 天におられるあなたがたの父の子どもになるためです。父はご自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。 46 自分を愛してくれる人を愛したとしても、あなたがたに何の報いがあるでしょうか。取税人でも同じことをしているではありませんか。・・・あなたがたの天の父が完全であるように、完全でありなさい。」(マタイ 5 : 44～48)

2. 聖く生きる

① 神の御心は信者が聖なる者となること

「私たちが主イエスによって、どのような命令をあなたがたに与えたか、あなたがたは知っています。 3 神のみこころは、あなたがたが聖なる者となることです。あなたがたが淫らな行いを避け、 4 一人ひとりがわきまえて、自分のからだを聖なる尊いものとして保ち、

5 神を知らない異邦人のように情欲におぼれず、 6 また、そのようなことで、兄弟を踏みつけたり欺いたりしないことです。私たちが前もってあなたがたに話し、厳しく警告しておいたように、主はこれらすべてのことについて罰を与える方だからです。 7 神が私たちが召されたのは、汚れたことを行わせるためではなく、聖さにあずからせるためです。 8 ですから、この警告を拒む者は、人を拒むのではなく、あなたがたにご自分の聖霊を与えてくださる神を拒むのです。」（第一テサロニケ 4：3～8）

- ・ なぜ：信者は、聖なる者となるために聖なる神から召されたから
- ・ どのように：あらゆる汚れを避け、聖く生きることが弟子の務め
- ・ もし：この警告を拒む者なら、神を拒むことになる

② 聖霊によって歩む

「私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。・・・ 19 肉のわざは明らかです。すなわち、淫らな行い、汚れ、好色、 20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、 21 ねたみ、泥酔、遊興、そういった類のものです。以前にも言ったように、今もあなたがたにあらかじめ言っておきます。このようなことをしている者たちは神の国を相続できません。 22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、 23 柔和、自制です。このようなものに反対する律法はありません。」（ガラテア 5：18～23）

③ 心を聖める

- ・ 罪は心の中ですでに始まっている

『姦淫してはならない』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。 28 しかし、わたしはあなたがたに言います。情欲を抱いて女を見る者はだれでも、心の中ですでに姦淫を犯したのです。」（マタイ 5：27～28）

- ・ 行いだけでなく、動機も正しくなければならない

「人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から報いを受けられません。 2 ですから、施しをするとき、偽善者たちが人にほめてもらおうと会堂や通りでするように、自分の前でラッパを吹いてはいけません。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでに自分の報いを受けているのです。」（マタイ 6：1～2）

＊地上で善行の報いを受けると、天での報いは失われる